

【災害医療】

総合評価
A

<評価基準> A：達成している B：概ね達成している C：やや達成が遅れている D：達成が遅れている -：その他
---

○ 課題と取組

課題		取組	
課題 1	医療機関の受入体制	取組 1	医療機関の受入体制の確保
課題 2	医療救護体制の強化	取組 2 - 1	区市町村等の取組支援
		取組 2 - 2	医療連携体制の確保
		取組 2 - 3	情報連絡体制・搬送体制の確保
		取組 2 - 4	危機管理体制の整備
		取組 2 - 5	災害医療に関する都民への普及啓発
課題 3	東京DMA Tの体制強化	取組 3	東京DMA Tの体制確保
課題 4	医薬品等の供給体制の強化	取組 4	医薬品等の供給体制の確保

○ 各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成状況	出典
				4 年目 (令和 3 年度)	5 年目 (令和 4 年度)	6 年目 (令和 5 年度)		
取組 1	災害拠点病院の指定数	80病院	増やす	83病院	83病院	83病院	B	救急災害医療課調べ (令和5年度末)
取組 1	災害拠点病院の耐震化率	92.5%	100%	96.4%	96.4%	97.6%	B	救急災害医療課調べ (令和5年9月1日現在)
取組 2 - 3	複数の災害時の通信手段の確保率 (災害拠点病院)	76.3%	100%	100.0%	100.0%	100.0%	A	救急災害医療課調べ (令和5年4月1日時点)
取組 2 - 3	EMIS等を活用した訓練を実施している病院の割合	61.6%	100%	63.0%	55.5%	65.0%	- ※ 1	令和6年2月29日実施
取組 2 - 3	広域医療搬送を想定した訓練の実施回数	-	年1回	0回 (令和3年11月21日実施予定であったが中止) ※ 2	2回	1回	A	令和6年2月22日実施
取組 3	東京DMA Tの隊員数	1,097人	1,000人を維持	1,083人	1,149人	1,241人	A	救急災害医療課調べ (令和5年度末)

※ 1 取組 2 - 3 「EMIS等を活用した訓練を実施している病院の割合」に関する達成状況について  
 策定当時の実施対象病院は約 300 病院であったが、令和元年度、システム改修により都内全ての病院（約 650 病院）が活用可能となった。  
 令和 2 年度以降に行った訓練は、全病院を対象として実施しており、策定時と状況が大幅に異なるため、昨年度同様に「その他：-」として整理。

※ 2 取組 2 - 3 「広域医療搬送を想定した訓練の実施回数」に関する達成状況について  
 令和 3 年度は、東京都・東村山市合同総合防災訓練と合わせて広域医療搬送を想定した訓練を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、総合防災訓練が中止